

剥離、色あせがなく、撥水性を10年間保証する

イフスジェイ・コンクリート着色劣化防止材

“ Canyon Tone Stain ”

Canyon Tone Stain



【はじめに】

キャンヨン・トーン・ステイン（以後、CTS と略します）は、高浸透性の水性アクリル系シーラー、及び着色剤で、いつまでも変褐色がなく、紫外線、アルカリ質、汚染に強く、剥離、クラック、発泡などを起こしません。

また CTS は、水蒸気を屋内から逃がす透湿性に優れていると共に疎水性を持つ樹脂を使用することにより優れた撥水性を発揮します。更に着色用顔料を常にアクリル樹脂材の上で浮遊するように化学処理しているので、塗装面に沈殿や色むらがなく、いつまでも均一した美しい色を維持します。

【塗装できる表面材質】

粗骨材・細砂コンクリート	石材
レンガ	スタッコ

【物 性】

特 性	条 件	値
重 量	3.8 リットルの場合	4.8kg
粘 度	21℃の場合	1 to 1.5Pas
乾燥時間	相対湿度 50%で 24℃の場合	15 分
硬化時間	同 上	1 時間
光 沢	光沢計ガードナーの場合	60
接着性	コンクリート、又は石材	4,828kPa
耐温度	劣化しない温度範囲 (℃)	- 57 to 93

【性能】

特性	試験方法	結果
促進耐候性 耐紫外線性	変褐色の有無と耐紫外線性を見る 3,000 時間継続的に照射・露出	劣化なし チョーキング、剥がれなし
天然日射への 抵抗性	18,000 時間、大量の日射を浴びせ 色や光沢の変喝度を見る	色、光沢の変化は、殆どなし
塩化イオンが浸透 した際の収縮度	封孔処理したコンクリートパネルを使用し 塩化イオンに対する抵抗性を見る	1.6～13mm の浸透で 73%の収縮 13～15mm の浸透で 94%の収縮
風雨への抵抗性	与圧環境での浸水性を見る	与圧後 60 分でも浸水なし
塩水噴霧への 抵抗性	Harshaw 塩水噴霧室で 5%の食塩水を噴霧	500 時間後も色落ち、白華 などの劣化なし
耐硫化汚染性	硫化水素を充分浸して見る	15 分後も色落ちの兆候なし
化学反応への 抵抗性	7 日間、下記の溶液に浸す * 水酸化ナトリウム * 水酸化アンモニウム * ミネラルスピリット	軟化なし、変色は極めてわずか 軟化なし、変色は極めてわずか 軟化・変色なし

- * 硫化水素は、一般的な工業汚染物質で、多くの着色剤に色落ちを生じさせます。
- * 水酸化ナトリウムと水酸化アンモニウムは、コンクリートや石材のアルカリ度を変化させ劣化させます。
- * ミネラルスピリットは、一般的に落書きの除去に使用されています。

【特長】

- 見た目にむらがない
CTSの着色度は低めで、上塗り材 3.8リッター内に含まれている顔料は、0.45 kg 以下です。
これらの顔料は、化学的に溶液内で常時浮遊しており、構造体に凝結や変色が起こらないようになっています。
- 変褪色がない
CTSの標準色に使用されている顔料は、層状ケイ酸や二酸化チタン、無機酸化物などです。
色落ちしないこれらの顔料は、自然石のように耐久性があり、紫外線やオゾン攻撃などにも確実に耐えます。
- 他の資材を混ぜる必要がない
CTSは、混合後すぐに使用できます。 また、ポットライフの心配もない上、保存期間も無制限です。

- 素早く塗布できる
CTSは、乾燥が早い上、ほとんどの表面に素早く2度塗りができます。また、細目または高密度の下地には、クロスハッチング（網目状に縦横方向に塗る）の塗布方法で施工すれば1度塗りで十分です。
- 酸化なし
CTSは、植物油、魚油、パラフィン、ステアリン酸塩、有機色素など酸化を引き起こして劣化を早め、水分を浸入させる原料を全く含んでいません。CTSは、混じり気がなく、黄ばみしないアクリル系ポリマーで、混合樹脂または可塑剤などはいっさい含まれておりません。
- 塗り重ねがない
CTSは、独自のアクリル系樹脂塗料で、着色・光沢度が低く塗り重ねの跡が残りません。
- 水性
無毒・無臭のため、屋内外で簡単かつ安全な塗装ができます。同塗料は、すべての連邦や州、地域などのVOC規制を満たしています。
- むけや剥がれやない
CTSは、コンクリートや石材の表面に極めて高い浸透性と頑強な接着力を発揮するため、天然コンクリートのように外気に耐え、一般的な「塗るためだけの塗料」に見られるような下地上のむけや剥がれが起きません。

【施工案内】

◆ 下地処理

- ① 清潔で乾燥しており、十分硬化（養生）していること
- ② ゴミ、硬化剤、剥離材がついていないこと
- ③ 劣化、水垢、またはその他の異物が付着していないこと
- ④ 下地上の旧塗膜は、全て完全に除去すること
- ⑤ 化粧レンガ、高密度レンガ、グラスファイバー補強コンクリート、細目の高密度コンクリートなどの下地は塗布前に砂吹きを行い、できるだけ浸透性を高めておきます。

◆ 使用道具・機器

- ① 通常、1分間、1リットルで6,980kPa塗布できるエアースプレー機を使用します。
- ② ノズルは、両面使用で取り外しができ洗浄できるものが良いです。
- ③ ノズルのサイズは、0.38～0.53mmで、吹き付け角度が40度以上のものが良いです。
- ④ 多孔質の下地には、ローラーが便利です。
- ⑤ 細部、端部には、刷毛が良いです。

◆ 塗布面積

コンクリート、プリキャスト、グラスファイバー、補強コンクリート	3.7 m ² /ℓ
レンガ	1.9 m ² /ℓ
吹き付けスタッコ	1.3 m ² /ℓ
コテ塗りスタッコ	2.4 m ² /ℓ

◆ 塗布回数

- ① 通常、最低でも 2 度塗りをし、1 層目は色のベースとして下地になじませ、2 層目は、むらのない色調と撥水性を持たせるために塗布します。
- ② 細目、または高密度の下地には、1 度塗りです。

◆ 施工方法

- ① 容器内の CTS を塗布前に最低 5 分間混ぜ合わせます。塗布中も時々かき混ぜてください。
- ② 塗布する建物の目立たないところで、色調と塗布方法をチェックしてください。
- ③ 2 度塗りをする場合、1 層目は水平方向に塗り、乾いたらすぐに 2 層目を垂直方向にむらなく塗ります。
- ④ 極めて粗目、または多孔質の下地の場合は、3 層目を水平方向に塗ります。
- ⑤ 細目、または高密度の下地には 1 度塗りでもかまいませんが、その場合はクロスハッチング（水平・垂直）の方法で塗布してください。
- ⑥ ひだ状、溝上、石割肌仕上げ、その他テクスチャーのある上塗りに塗布鶴場合は、全ての面に塗布できるようにいろいろな角度から塗布してください。
- ⑦ 吹き付けガンは、壁面から 45.7cm 以上離さないようにし、液だれが起こらないようにします。

◆ 注意点

- ① CTS は、薄めてはいけません。
- ② 気温が 10℃未満の場合、また塗装後 6 時間以内に気温が 0℃未満に下がると考える場合は、塗布しないで下さい。
- ③ 雨、露、また凍結などの恐れがあり、CTS が完全に固まり難い天候の場合は、塗布しないで下さい。
- ④ 吹き付けている気体を吸い込まないようにマスクを着用して下さい。室内塗装の場合は、排気通風機を使用し、マスクを着用して下さい。
- ⑤ 工具は、石鹼と水で洗浄し、ミネラルスピリット、またはセロソルヴ溶剤で水気を除去してください。
- ⑥ 液道のある工具は、次回使用するまでミネラルスピリット、またはセロソルヴ溶剤につけておきます。

【保 管】

- 保管温度は、4℃以上 38℃未満にし、できれば一定温度で保管して下さい。

以上、CTS の製品案内です。

お問い合わせ、ご質問は、イフスジャパン、製品管理部までお気軽にご連絡下さい。

EIFS JAPAN 株式会社 製品管理部	www.eifsjapan.com
Tel : (0537)23-3992	Fax : (0537)23-3993 e-mail : info@eifsjapan.com